

取組事例の名称等

豊田市立猿投台中学校
(第1学年 総合的な学習の時間
菜の花プロジェクト)



取組の内容 (学校)

1 導入、講義、体験学習

- ①オリエンテーション、種まき
- ②講話、ろうそく作り
- ③BDF 説明、廃油石けんによる洗濯体験、トラクターとの綱引き、菜の花の手入れ

2 まとめ

- ①発表会 (校内)
- ②発表会 (校外)

ねらい

菜の花プロジェクトを通して、地域貢献活動に参加し、地域の一員としての自覚を高める。
環境問題や SDGs について学ぶことで、持続可能な社会を
作り上げるために必要な力を身に付けさせる。

工夫

- ①持続可能な社会のためにできることを具体化するために、身近な菜の花をテーマに設定。菜の花プロジェクトを通して、NPO を始めとする地域の方との交流を深め、地域社会との関わりを再認識。
- ②リサイクルやごみの減量も踏まえた実習として、ろうそく作りを行い、環境問題を楽しく学べるよう工夫。
- ③育てた菜の花を卒業式で飾ることで、保護者等を始めとする関係者へ菜の花プロジェクトを周知。

♡ 本物体験 ♡ 驚き・感動 ♡ ゲーム化

♡ 成果実感

学習者の状況

環境問題や SDGs に関する興味・関心の程度は様々である。

学習者の反応

- ①自分で菜の花を育てること、プロジェクトを通して環境問題を学べることを楽しみにしている様子であった。
- ②ろうそくの作り方を習ったので、家の廃油を再利用して作ってみた。
- ③燃料としてBDFを使ったトラクターとの綱引きが印象的だった。排気ガスも天ぷらのようなにおいで美味しそうだった。



- ①級友の発表を聞き、自身が調べていただけでは知りえなかったことも知ることができ、さらに環境問題について理解を深めることができた。
- ②自分たちの活動を、様々な方に発表するために発表練習を行った。何度も練習し発表することで、自信を持って発表することができた。



成果指標

菜の花プロジェクトを通して、地域貢献活動に参加し、地域の一員としての自覚を高めることができたか。
環境問題や SDGs について学ぶことで、持続可能な社会を作り上げるために必要な力を身に付けることができたか。

学習の効果&主に育まれる力

- ・家でも使用済みの廃油からろうそくを作ったというように、実践しやすい内容を題材とすることで、リサイクルやゴミの減量を家庭でも考えるきっかけとなった。
- ・菜の花プロジェクトを通して取り組んできたものが、教科を横断した学習や、生活と深く関わっていることを理解することができた。



- ・生徒自身が興味を持った環境問題を探求し、その問題の解決策を実践することで、より自分事としてその問題を捉えることができた。
- ・他者の発表を聞くことで、様々な環境問題について理解を深めることができた。



■取組の内容（関係者）

NPO 法人豊田・加茂菜の花プロジェクト、
太田油脂（株）等の関係者との連携

工夫

- ・生徒の興味を引き出すために、五感を使った体験を提供できるように学校と調整。
- ・菜種を搾油機で絞った後のしぼりかす、菜種を使った醤油等の試食や、BDFの馬力を体験するためにトラクターと綱引きなど、生徒の興味を引き出すように工夫。

♡ 本物体験 ♡ 驚き・感動 ♡ ゲーム化

学習者の反応

- ・菜種が油になり、利用され、BDFにリサイクルされる一連の流れを見ることで、菜の花プロジェクトへの理解が深まった様子であった。
- ・トラクターとの綱引きというゲーム要素が生徒の記憶に残った様子であった。



学習の効果&主に育まれる力

- ・五感を使った体験により、生徒の理解を深めることができた。
- ・NPOや企業と連携・協働することで、地域社会を意識した学びにつなげることができた。



■豊田市立猿投台中学校（第1学年 総合的な学習の時間 菜の花プロジェクト）

・菜の花プロジェクトを通して、環境問題やSDGsについて学ぶことで、持続可能な社会を築くために必要な力を身に付けさせることを目的として、NPO、企業等の関係者と連携・協働により、長年にわたり実施している。



廃油を原料にした石鹼を使用して洗濯体験をする様子



探究活動
学級発表会の様子

学習者の変容

- 【生徒のコメント】
- ・菜の花は、様々なものへと形を変えながら循環させることができ、地球温暖化を防止できることが分かった。
 - ・廃油を使い石鹼やろうそくを作れるということを知り、限りある資源を有効に使うことの大切さが分かった。
 - ・今後は廃油を捨てるのではなく、リサイクルをしていきたい。また家族や周りの人にも菜の花プロジェクトで学んだことを広げていきたい。

- 【先生のコメント】
- ・体験活動を行うことにより、自分事として捉えながら活動することができ、環境問題への意識が以前よりも高まった。

- 【関係者のコメント】
- ・自分たちの活動をどれだけ理解してもらえているのか知りたいと思っていたが、先生のフォローもあり、生徒に話した内容をしっかり理解してくれていることが確認でき、とても有意義だった。

成果と課題

- 【成果】
- ・菜の花プロジェクトを通して、学校、地域の関係者が連携・協働し、充実した体験活動を実施することで、地域の特色を活かした学びにつなげることができた。
 - ・環境問題やSDGsについて多面的に捉え、知識を結びつけていくことで、横断的な学びとすることができた。

- 【課題等】
- ・探究活動時に行った、環境問題を解決するための実践を、継続的に行うことができていない。
 - ・生徒たちが育てた菜の花を、卒業式や入学式で飾ることで、会場を華やかに彩り、菜の花プロジェクトの周知を図っていく。